

【不登校未然防止への取組】

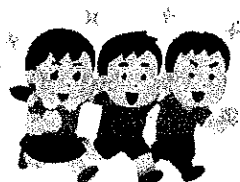
「よりそい愛言葉 やつしろ」

「魅力ある学校・学級づくり」

～すべての子供が「学校に行くのが楽しい」と思える学校に～

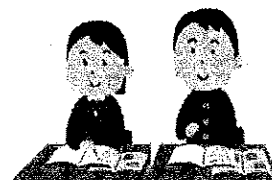
八代管内共通実践事項

「一人一人に寄り添う言葉かけを」



基本姿勢

- 1 子供と向き合う
- 2 子供を理解する
- 3 子供の願いを受け止める



具体的方法

- 1 子供や場面に応じて工夫して声をかける
- 2 結果だけでなく過程を認める声をかける
- 3 認める機会をつくるために声をかける

言葉かけの場面

(認める・ほめる・励ます・思いやる・向き合う)

健康観察で
休み時間で

朝の会で
掃除で

授業で
帰りの会で

給食で

八代管内不登校の実態

- 不登校児童生徒数の増加 (R2年度: 小学校 1.09倍、中学校 1.07倍 R1年度比)
- 不登校に占める新規の不登校が約半数 (R2年度: 全体の 45.5%)
- 児童生徒の自己肯定感 (自分には、よいところがある) が低い
(管内 74.1% 全国 76.2% R3年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査より)

熊本県八代教育事務所
 八代市教育委員会
 氷川町(組合)教育委員会

【基本姿勢】

1 子供と向き合う

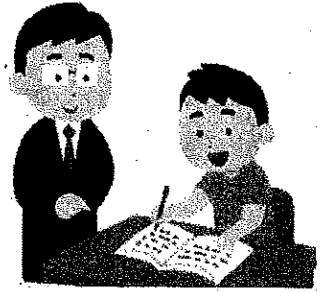
- ア 手を止めて子供の話を聴く（途中で口をはさまない）
- イ 子供の顔を見ながら話を聴く（目でも心でも）
- ウ 子供を尊重して言葉を返す

2 子供を理解する

- ア 子供の名前や取組を覚えておく
- イ 子供の願いや困っていることを理解する
- ウ できないことより、できていることに目を向ける

3 子供の願いを受け止める

- ア 子供の学校・学級で「受け入れられたい」という願いを受け止める
- イ 子供の「認められたい」という願いを受け止める
- ウ 子供の「頑張りたい」「できるようになりたい」という願いも受け止める



【具体的方法】

1 子供や場面に応じて工夫して声をかける

- ア 子供自身も同じように考えている場合、Youメッセージで認める
例)「〇〇さん、掃除を頑張っているね。」
- イ 子供自身の考えは分からないが、自分がそう感じている場合、Iメッセージで認める
例)「〇〇さんのおかげで、黒板を気持ちよく使えるよ。」
- ウ 自分以外の人もそう感じている場合、Weメッセージで認める
例)「△△先生も、黒板がいつも美しいってほめていらっしやったよ。」

2 結果（成果）だけでなく、過程（努力）を認める声をかける

- ア 結果（成果）を認める
例)「テストで100点だったなんて、すごいね。」
- イ 努力を認める
例)「今回のテスト、前よりも点数が伸びたんだね。毎日頑張っていたもんね。」

3 認める機会をつくるために声をかける

- 例)「〇〇さん、お願いしてもいいかな。掲示物がはずれているのを直してくれる？」
「ありがとう。おかげできれいになったよ。」

一人一人によりそう言葉かけの場面と具体例

□健康観察で、思いやる

・元気な返事ができる子供に

- 例)「とてもいい返事だね。先生も元気が出るよ。」
- 例)「今日も笑顔いっぱいだね。」

・日頃と様子が違う子供に

- 「いつもと違うけど大丈夫？先生でよかったら遠慮なく話してね。」

□朝の会で、認める

- 例)「今日の学級の目標にぴったりだね。素敵な目標をありがとう。」

□授業で、認める・ほめる・励ます

・学習で困っている子供がいるときに

例)「困っている人は、いませんか?」「困っている人と一緒に考えてもらえませんか。」

例) (机間指導)「どこで困っているの?」「一緒に考えてみようか。」

例)「発言してくれてありがとう。〇〇さんのおかげで、みんなの学びが深まったよ。」

・発言を他の子供につなげるときに

例)「なるほど。〇〇さんの考えについて、みんなはどう思う?」

・うまく発表できずに困っているときに

例)「誰か〇〇さんの続きを発表してくれる人?」「ありがとう。〇〇さんの言いたかったことはこれでいいですか。」

□給食で、向き合う

・よく話す子供に 例)「〇〇さんの話で、給食が楽しくなるよ。ありがとう。」

・あまり話をしない子供に 例)「〇〇さんは、どうなの?」

□休み時間で、認める・思いやる

・よく話す子供に

例)「〇〇さんがいると、学級が楽しくなるよ。ありがとう。」

・一人で勉強(読書)している子供に

例)「よく勉強(読書)しているね。何の勉強(読書)をしているの?」

・普段とは違う過ごし方をしている子供に

例)「今日はいつもと違うようだけど。何かあった?」

□掃除で、認める・ほめる

例)「掃除頑張っているね。教室がきれいになったよ。ありがとう。」

例)「気持ちよく授業ができるよ。」「みんな気持ちよく学習できるよ。」

例)「人が見ていないときも頑張るよね。そんなところ本当に素敵だね。」

□帰りの会で、認める・ほめる

例)「〇〇さんのおかげで、みんなもとても助かりました。ありがとう。」

例)「〇〇さんの活躍を、みんなに教えてくれた△△さん、ありがとう。」

□宿題や日記、生活ノート等を通して、認める・ほめる・励ます・思いやる

例)「〇〇(頑張りを具体的に記述)は、とてもよかったです。よく頑張りましたね。〇〇さんが成長をして、私はうれしいです。」

・日記や生活ノートの内容に悩み等は書いていないが、様子が心配な子供に

例)「いつも〇〇さんを観ていますが、最近少し元気がないので心配しています。何かあれば遠慮なく相談してくださいね。」

・日記や生活ノートの内容に悩み等を書いてきた子供に

例)「教えてくれてありがとう。〇〇さんの悩みが分かって私はうれしいです。私にどんなサポートをしてほしいか教えてくれると助かります。これからも何でも相談してください。」